

HotScan

資金洗浄検知システム (AML) HotScan 機能概要

株式会社インフォエックス

-AMLソリューション

LogicaCMG社がAnti-Money Launderingソリューションとして開発したソフトウェアです。制裁対象エンティティ(Bad Guy)に該当もしくは疑わしい受発信をリアルタイムでフィルタリングすることが可能です。

-高い操作性

世界各国の制裁リストをフィルターとして設定可能です。電子データ属性ごとに制裁リストフィルターを選択する機能により各国の規制ギャップに対応しています。疑わしいとする送入金電文の範囲や計算の重み付けなどチューニングが可能です。

-高い検証性

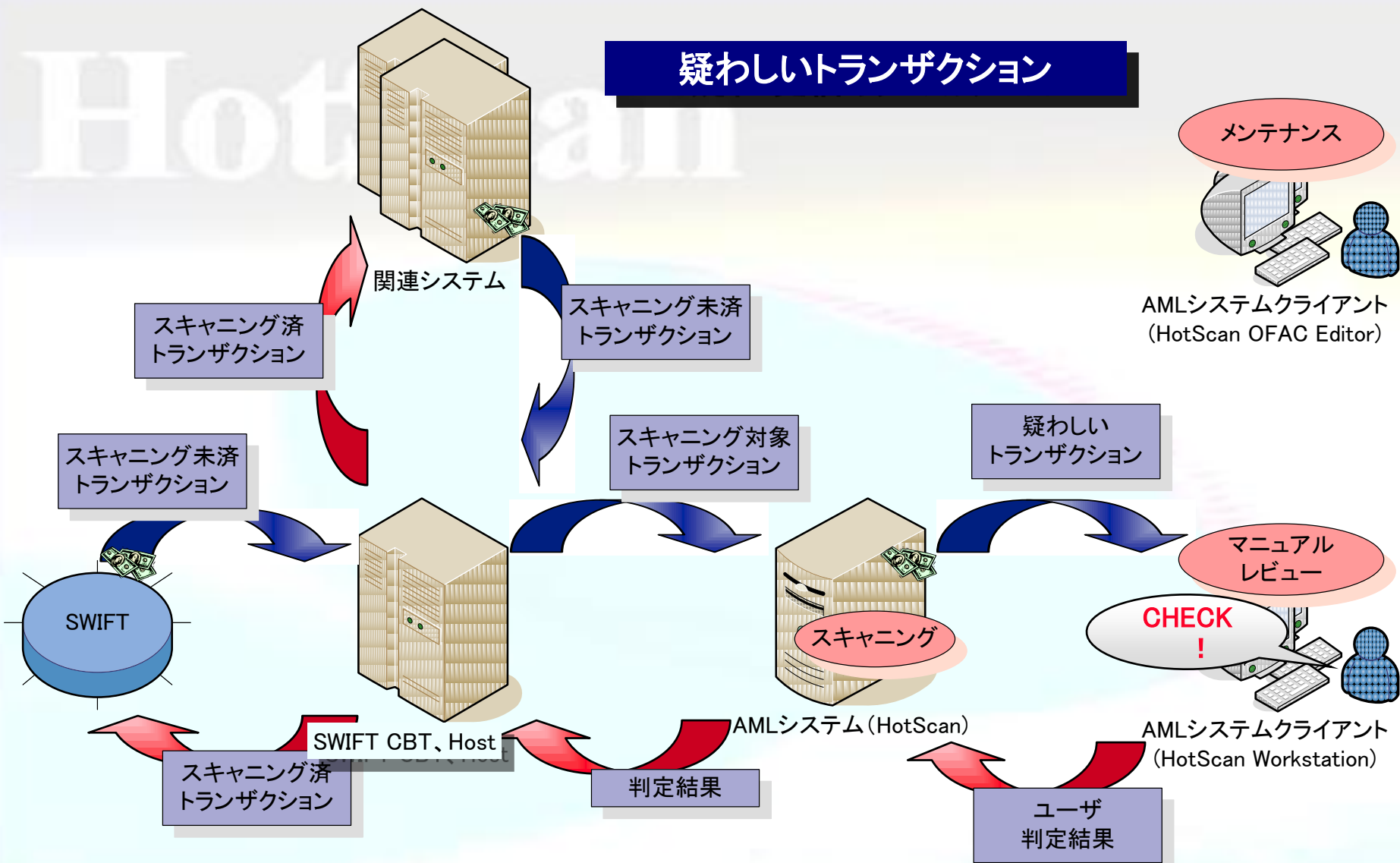
疑わしい送入金チェックに対する複数人チェック、帳票による事後チェックが可能等、豊富な検証手段を備えることで、AMLとして高い機能を発揮します。

-豊富な導入/稼働実績

国内のメガバンクのみでなく、海外も含め安定稼働中です。また世界の中央銀行、大手銀行でも安定稼働しておりその高い実績の裏付けと言えます。



疑わしいトランザクション



・スキヤニング(マッチング率算定処理)

OFAC(財務省外国資産管理局),EU(欧州連合),BOE(Bank Of England),金融庁等から提供される制裁対応エンティティ(注)を元に電子データをスキヤニング(マッチング率算定)し、その結果を数値化(0%(白)~100%(黒))します。

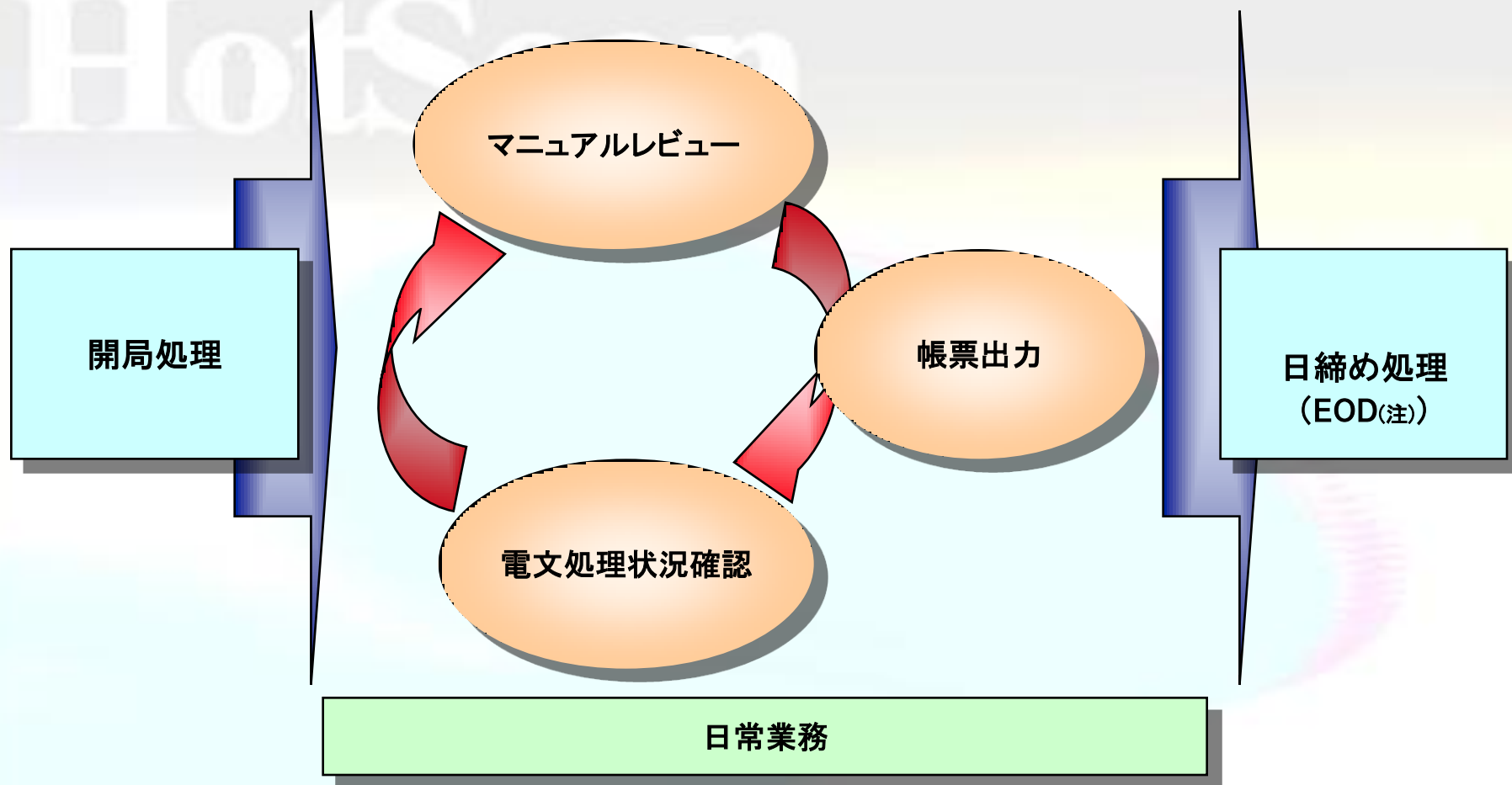
・スキヤニング結果判定パラメータ

スキヤニングにより数値化された結果は、ある閾値に従い判定されます。

・マニュアルレビュー(MANUAL REVIEW)

疑わしいトランザクションデータをオペレータが確認し、PASSまたはFAILの判定を行います

(注) 制裁対象エンティティ…各国が規制する送金禁止対象を指します



(注) EOD…End Of Dayの略称であり、ソフトウェアとして必要な処理です。

スキヤニング

トランザクションのテキスト部分を制裁対象リストを元にスキヤニングします。

なお、スキヤニング及びオペレーションの効率化の為に Good GuyやCriteria Set、Mapped Listといったスキヤニング要素を持っています。

※詳細は後述

